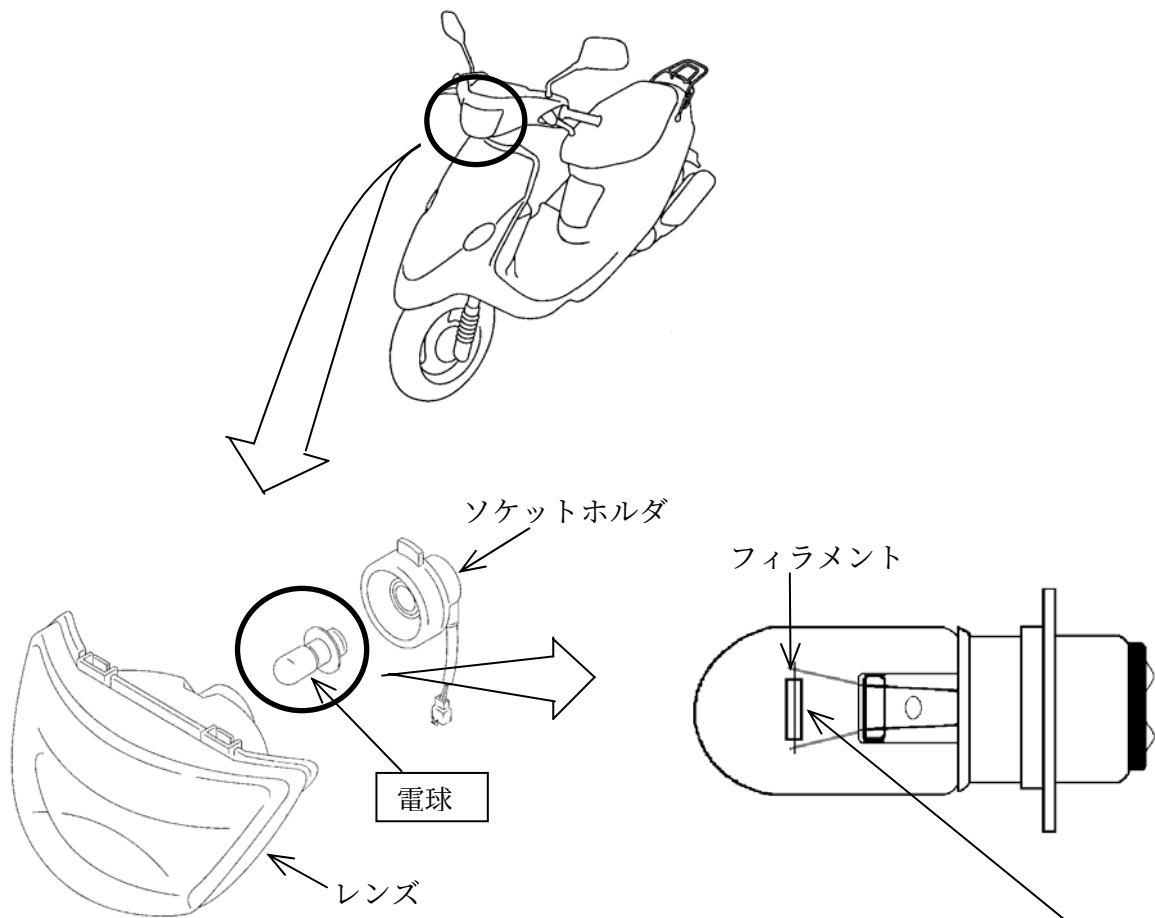


改善箇所説明図



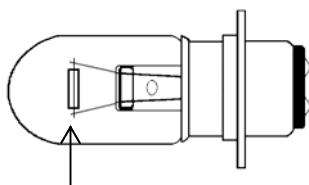
基準不適合発生箇所

前照灯の電球の仕様の設定が不適切なため、前照灯を点灯した時に、電球の温度が高温となり、導入線のガラス封着部の表面の劣化が早期に進行することがある。そのため、外気が電球内部に侵入し、フィラメントが異常燃焼して断線し、前照灯が不灯となるおそれがある。

改善の内容：全車両、前照灯の電球を対策品と交換するとともに、取扱説明書の当該電球の仕様の記載内容を対策品の仕様に変更する。

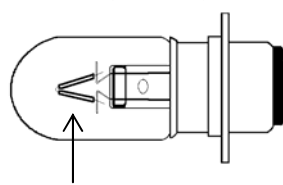
識別：電球のフィラメントの形状が異なっている。

旧(現在取付けられている電球)

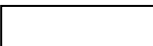


直線形状

新(対策品)



先端が尖ったV字形状

注：  は交換部品を示す。